F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP 2021

CERTIFIED BY FIA

シリーズ前半戦
参戦報告書

シーズン前半戦の軌跡

FUJI SPEEDWAY

- 第1戦　優勝
- 第2戦　DNF(22位)

TWINRING MOTEGI

- 第5戦　5位
- 第6戦　2位
- 第7戦　7位

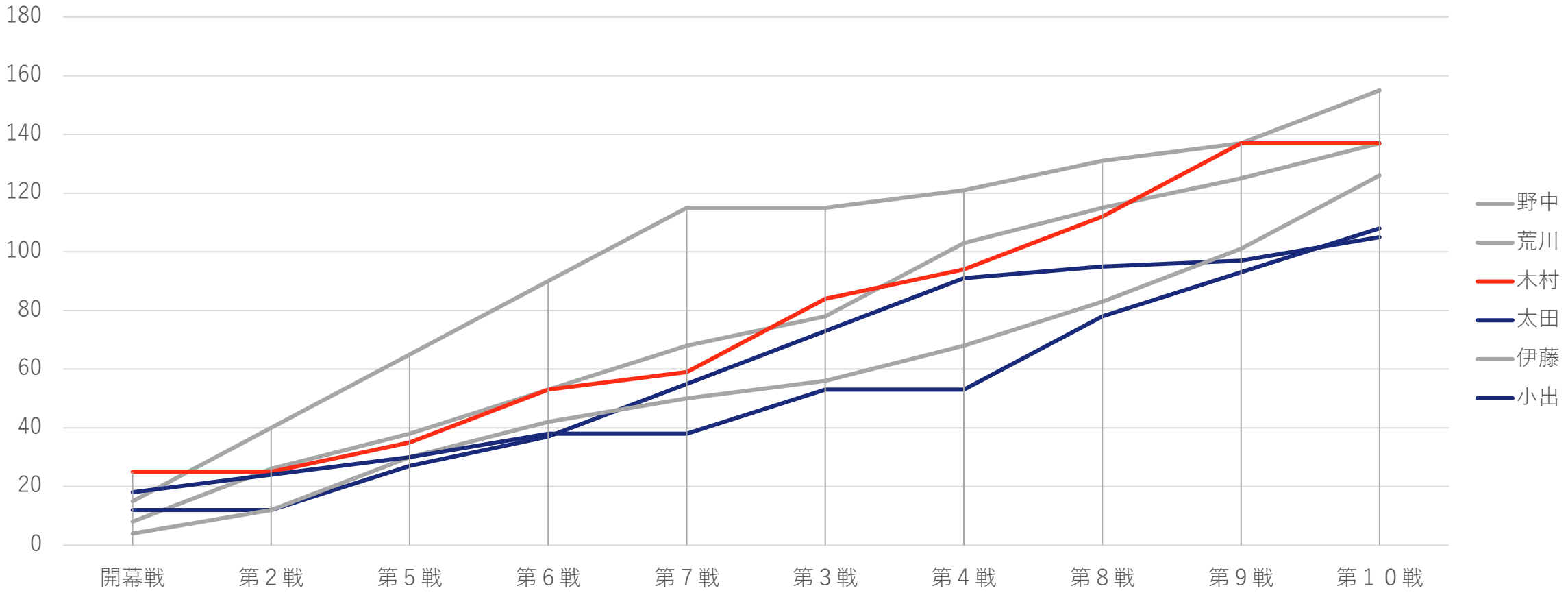
SUZUKA CIRCUIT

- 第4戦　優勝
- 第5戦　5位
  (トップチェッカー)

SPORTLAND SUGO

- 第8戦　2位
- 第9戦　優勝
- 第10戦 26位

シーズン前半戦の軌跡　Point Ranking



シリーズランキング２位　HDFP ランキングトップ

トップまでのポイント差 18pt

~ Mini Reports ~

開幕前

ホンダチームとしてF4に乗るのが１年振りの状況から迎えたシェイクダウン
昨年はコロナにより、レースに参戦出来ない状態であったので他のF4
オーナーさんにマシンを貸して頂いて練習をしたり、シミュレーターで
トレーニングをしたり、自分のレース勘を無くさないように準備を
進めて参りました。しかし、ホンダの独特なマシンセットに
自分のドライビングを合わせ込めきれず、開幕までの
テストではタイムが伸びず苦しい状態が続きました。

~ Mini Reports ~

開幕ラウンド「富士」

そんな開幕前の不安を抱えながら迎えた富士。
自分なりに考えた走り方とマシンセットがピッタリ収まり、レースウィーク中、終始安定して速さを見せ、開幕戦優勝することが出来ました。
しかし、第2戦ではマシントラブルと自分のミスによりポジションを大きく落とし、ノーポイント。
反省点も多く見られたレースでした。
しかし、周囲を圧倒するレース運びは関係者から大きく評価され次戦におおきな期待が持たれる形となりました。

SRS Formula
Honda FORMULA DREAM PROJECT

第2大会 真夏の「もてぎ」

開幕戦の勢いをそのまま鈴鹿大会へと挑みたかったですが、新型コロナウィルスにより鈴鹿大会が延期、第三戦のツインリンクもてぎ大会がスライドされ第2大会という形になりました。真夏のもてぎは今までのF4のレースウィークではなく、イレギュラーである中、緊急事態宣言下でテストも出来ず、圧倒的なデータと練習不足で厳しいレースとなりました。しかし、持ち帰るべきポイントはしっかりと持ち帰りシリーズに向けて駒を進めることが出来ました。

SOS formula

Honda FORMULA DREAM PROJECT

~ Mini Reports ~

大本命 ホームコース「鈴鹿」

ライバル勢に惨敗した苦しいもてぎから気持ちを切り替え挑んだ鈴鹿大会。テストから好調でレースウィークを自分の流れにすることが出来ました。自身初となる2戦連続トップチェッカーを果たし速さのアピールと共に大きな自信に繋がりました。トップと約60ポイント差もあったシリーズポイントも27ポイント差まで大きく詰め、後半戦、菅生の3連戦と茂木大会、富士大会と大きな期待が寄せられました。

~ Mini Reports ~

遂に捉えたポイントランキングトップの姿「SUGO」

第2戦から悪くなってしまった流れもようやく鈴鹿で取り戻し迎えたSUGO大会。
自身物凄く好きなサーキットであり事前テストから好調なペースでレースウィークに入りましたが、タイヤのロッドが変わったことにより形成逆転、木曜・金曜での公式テストでは下位に沈んでしまいました。しかし、タイヤとマシンの理解、ドライビング改善に集中し諦めずに取り組み続けた結果、ポールポジションは獲得出来ませんでしたが、2位と優勝をマークしランキングトップと同ポイントまで迫る展開となりました。翌日のレースでは差を更に広げたかったもののスタート時のクラッチミートでわずかに車が動き、フライングと判定されてしまい26位フィニッシュとなりました。

後半戦への抱負

昨年はチーム不参加によりトヨタにタイトルを取られ、そこからチームとして流れを掴めないまま迎えた2021シーズン。
鈴鹿大会からようやく1年半振りに流れをホンダチームに戻すことが出来ました。

菅生大会ではポイントランキングトップの選手と一時は同ポイントまで詰めより、その後のレースでは自分のミスによりノーポイントに終わり18ポイント差で
残り４レースを挑む形となりましたが、僅か2大会で40ポイントを詰めることが出来ましたので確実に流れはこちらに来ていると確信しております。

ホンダ勢で唯一のチャンピオンが狙えるポジションということもあり、残り２戦、ホンダのモータースポーツ部長からの期待も大きく、
かなりの重責を背負いながら戦うことになります。他チームもライバル、そしてチームメイトもライバルという状況の中タイトル獲得の為全力で取り組みます。

まだまだシーズン真っ最中ではございますが、ここまで来れましたのはご支援頂きましたスポンサーを始め、応援して頂きました皆様のおかげです。
「頑張れ！」「応援してるぞ」などという言葉は本当に力になります。今シーズン残すところあと2大会、4レース。
チャンピオンに向けて皆様の応援が確実にパワーになります。これからも応援よろしくお願いします。

FIAF4　JAPANESE CHAMPIONSHIP

Round 11,12 【ツインリンクもてぎ】11月6日、7日
FINAL Round 13,14 【富士スピードウェイ】11月27日、28日